

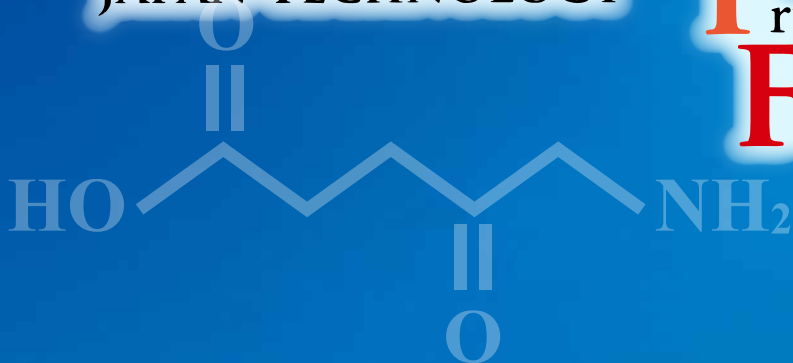
ALA GARDEN V

JAPAN TECHNOLOGY

Vegetables【野菜】

Fruits【果物】

Flowers【花木】



アラガーデンVFF

5-アミノレブリン酸 (ALA) 配合液肥



気孔を開く・光合成促進・窒素代謝促進

顕著な生育促進と増収

低温・寡照・塩害などのストレス軽減

樹勢回復、水稻・小麦の登熟歩合向上



1リットル
80ミリリットル



野菜・果樹・花き・穀類など、作物を選びません …環境ストレスからくる生育不良の改善に

ALA は、植物本来のチカラをアシスト

ALA (5- アミノレブリン酸)はすべての生物細胞に普遍的に存在するアミノ酸の一種です。アミノ酸ですが蛋白質を構成するアミノ酸ではありません。細胞内に存在する遊離アミノ酸と呼ばれる成分の一つです。

高等植物に含まれるALA はごく微量ながら、葉緑素や肥料を取り込む酵素となるなど、様々な生理作用に関与している重要な物質です。ALA は葉の気孔を開き、養水分の吸収促進や光合成のための二酸化炭素の供給を円滑にすること、窒素の吸収と代謝を促進することなどが報告されています。微量のALA を植物に与えると、顕著な生育促進、根量増加、低温、寡照、塩害等の環境ストレスを軽減します。

茎葉散布、株元への施用、土壌灌注など効かせたい時に・・・

アラガーデン VFF は、注目の ALA を配合した機能性液体肥料です。窒素 8%－りん酸 5%－加里 3%に苦土と各種微量要素を加えています。ALA とこれらの成分が協力して作物を元気にします。

茎葉散布、土壌灌注どちらでもお使いいただけます。

使用方法

- **茎葉散布** 水で 3,000 ～ 4,000 倍に希釈して葉の表裏にまんべんなく散布する。
日中および気温の高いときは避ける。早朝の散布が望ましい。
希釈したら速やかに散布し、作り置きしない。
- **土壌処理** 10 a 当たり 80 ～ 120 ミリリットルを目安に適量の水 (500 倍以上) に希釈して株元に施用する。
- **施用間隔** 1 ～ 2 週間間隔。
- **浸種処理 (水 稲)** 最初の 3 ～ 5 日間、3,000 倍希釈液に浸種する。以後は水に変えて慣行通り浸種、播種する。

保証成分 (%)						
窒素全量	内硝酸性窒素	水溶性りん酸	水溶性加里	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素
8.0	2.4	5.0	3.0	3.0	0.15	0.22
含有成分 (効果発現促進材) (%)					包装容量	農水省登録
鉄 (DTPA-鉄)	亜鉛 (硫酸亜鉛)	銅 (硫酸銅)	モリブデン (モリブデン酸ナトリウム)			
0.29	0.07	0.01	0.01		1 リットル 80 ミリリットル	生第106168号

【使用上の注意】

- 液体けい酸加里肥料等のアルカリ性肥料やカルシウム剤、無機銅剤 (水酸化第二銅剤、塩基性塩化銅剤、塩基性硫酸銅剤等)、その他アルカリ性農薬と混合厳禁。有機銅水和剤 (8-ヒドロキシキノリン銅剤) とは混用できません。
- 希釈用水の pH が高い (アルカリ性) 場合には、予めクエン酸 (10 ～ 30 g / 100 リットル目安) を加え、酸性に調製して使用してください。硬度の高い用水を使用すると沈殿を生じる場合があります。
- 肥料や農薬の濃厚液に本液肥を加えないでください。他の液肥や農薬と混用する場合は、他の液肥や農薬を使用濃度に調製した後に本液肥を加えてください。
- 水道水に含まれる塩素 (カルキ等) によって ALA 濃度が低下することがあります。水道水で希釈する場合は、できれば汲み置きした水を使う、希釈後は直ちに施用する等にご注意ください。
- 原液は酸性に保たれています。金属を腐食させるおそれがあります。使用後は手洗い、用具の洗浄等を入念に行ってください。
- 花芽形成時期に散布すると、まれに花芽形成が遅れる場合があります。